

先月号で概要を掲載しました。中央公民館、連合婦人会で実施した「病氣見舞のお返し」の市民意識について、設問を追って、その傾向を紹介いたします。

調査のあらまし

調査目的 この調査は、病氣見舞のお返しをはじめとした古い慣習について、市民から簡素化を進めてほしいとの強い要望があり、市民の病氣見舞のお返しに対する意識の動向を把握し、今後の「住みよい、明るい、助け合う、都市づくり」に資するためのものです。

調査期間 昭和58年1月17日～1月31日

調査対象 抽出調査法により、市住民基本台帳で抽出

抽出方法 世帯別等間隔抽出法

調査世帯 400世帯

回収数(率) 354 (88.5%)

地区別回収数(率) 新飯田=25 (100%) 茨曾根=21 (95.5%)

庄瀬=34 (91.9%) 小林=24 (75%) 白根=124 (82.1%)

白井=36 (97.3%) 大郷=24 (100%) 鷺巻=32 (94.1%) 根岸=34 (89.5%)

調査方法 配票調査法

多い廃止・簡素化を望む声

問1 病氣見舞のお返しについてあなたはどう思いますか。

この項は、市民の意識を問う設問で、「どうやって返したら良いか大変わずらわしい」と答えている人が四二%。次いで「無駄、無意義」だと思ふ」が三三%で、これらで全体の三分の二強を占めています。反対に「意義がある」は一四%と低い数字を示しています。

問2 病氣見舞のお返しを廃止することに、あなたはどのように思いますか。

お返しの廃止について、どのように市民が思っているかを問う設問です。「廃止した方がよい」が五四%「すでに廃止している」が五四%「すでに廃止している」が五四%

問3 地区として病氣見舞のお返しを廃止する申し合わせができたなら、あなたは協力しますか。

「すでに実行している」の実践割合を含めると「協力する」が八二%

が四四%と、「今までどおり」の七%を大きく上回っています。しかし「金額を定めて気持ちだけのものにされた方が」が二四%あり、市民は積極的廃止方向に賛成しながらも、気持ちの面でお返しをしたい意識があるようです。

また、地区によっては、申し合わせですべてに廃止しているところもあるようですが、現状では、完全実施とまでに至っていないことを、地区別のグラフが表わしています。

問4 申し合わせができたなら、どのような方法で徹底していった方がよいと思いませんか。

「故きを知って、新しきを学ぶ」という言葉があります。病氣見舞のお返しは、「大変わづらわしい」「無駄だと思ふ」と答えている人は、何歳くらいの人なんですか。もつてのほかの言葉です。

市民の自由意思を無視して、広報に取り上げること自体が、戦争につながるおそれがあるのではないのでしょうか。

たならどうされます

	あなたの意識			
	無駄だと思ふ	わづらわしい	意義がある	その他
全体	33%	42%	14%	11%
(新飯田)	36%	52%	4%	8%
(茨曾根)	51%	29%	4%	15%
(庄瀬)	32%	35%	12%	21%
(小林)	38%	41%	13%	8%
(白根)	23%	52%	16%	9%
(白井)	43%	39%	4%	12%
(大郷)	42%	29%	13%	16%
(鷺巻)	28%	41%	25%	6%
(根岸)	35%	38%	18%	9%

	あなたの意識			
	すでに廃止している	廃止した方がよい	今までどおり	気持ちだけのものにされた方がよい
全体	54%	14%	7%	24%

%と突出しています。この傾向は地区別でもうかがえます。特に庄瀬地区においては一〇〇%でした。また、世帯の過半数を占める白根地区では「なんとも言えない」と答えている人が三三%います。協力できない理由としては「お

「そうは思っているが、では誰が音頭を取る」という具合になるのが本音です。結果は「部落、町内ごとの総会にかけて」が四四%。「地区公民館や婦人会で」が三五%と圧倒的な割合を占めています。このことから市民は、日常生活上の小組織及び居住区内の大きな団体などから先導してもらいたいと願っている面が強いようです。

礼は当然」「協力したいが完全に出来ないと思うから」「人間としてふれ合いがなくなる」「商売上」を上げています。

問4 申し合わせができたなら、どのような方法で徹底していった方がよいと思いませんか。

「故きを知って、新しきを学ぶ」という言葉があります。病氣見舞のお返しは、「大変わづらわしい」「無駄だと思ふ」と答えている人は、何歳くらいの人なんですか。もつてのほかの言葉です。

市民の自由意思を無視して、広報に取り上げること自体が、戦争につながるおそれがあるのではないのでしょうか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。

お返しの実施や廃止は自由意思に任せるべき

病氣見舞のお返しは、その家の自由意思に任せるべきです。実施、廃止、簡素化などは、その家が選択すべきものです。今は、個人の自由意思が尊重されている時代です。中央公民館、連合婦人会、部落などで廃止簡素化を決めて住民に実施させた場合、人権蹂躪、人権軽視で憲法第十三条「個人の尊重」に違反し、法律を冒とくしていることとなります。あくまでも、その家の人の意思を尊重すべきです。他人が絶対に、その家の人のつき合い、また、家と家との仁義、までに口を出して、強制的に「やめなさい」とか、人との交際を「その程度にしなさい」と束縛する権利は、どこにもありません。

お返しの実施や廃止は自由意思に任せるべき

病氣見舞のお返しは、自由意思で良いと思います。いただきっぱなしでは、心のつながりがなくなってしまうと思います。義理人情がなくなれば、この世は闇になります。連合婦人会の方々が義理人情に欠けているので、高・中・小学生が不良化するのではないのでしょうか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。

「故きを知って、新しきを学ぶ」という言葉があります。病氣見舞のお返しは、「大変わづらわしい」「無駄だと思ふ」と答えている人は、何歳くらいの人なんですか。もつてのほかの言葉です。

市民の自由意思を無視して、広報に取り上げること自体が、戦争につながるおそれがあるのではないのでしょうか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。

また、冠婚葬祭が派手になってきたことから、廃止の運動をしています。冠婚葬祭は何十年に一度のこと。農協婦人部の方が、そういうことをとやかく言うのは、あまりにも口を入れ過ぎます。婦人会の方は、年にあの会・この会と何回行くことでしょうか。自分たちは節約しないで、人の自由意思まで破壊するつもりですか。



「病氣見舞のお返しについて」あなたならどうされます

	なんともいえない無回答		
	すでに実行している	協力する	協力できない
全体	13%	69%	15%
(新飯田)	16%	76%	4%
(茨曾根)	19%	57%	19%
(庄瀬)	21%	79%	4%
(小林)	4%	75%	17%
(白根)	2%	68%	26%
(白井)	22%	69%	9%
(大郷)	21%	71%	8%
(鷺巻)	28%	56%	16%
(根岸)	12%	73%	9%

	あなたの意識			
	部落、町内ごとの総会にかけて	地区公民館や婦人会で	各家庭で	その他無回答
全体	44%	35%	12%	9%

市民の意見

お返しは金品よりも心のこもった電話か手紙で…

野内熊太郎さん (砂押)

見舞をいただく時は、もちろん入院が主体であると思います。見舞には金もあり、また品物もあります。品物は特に、入院時に必要な物を選ばれるようです。見舞金も親戚、兄弟、知人、友人と異なるわけです。

社会保険制度が充実されたとはいえ、やはりお金がいるわけです。そこで、気持ちだけでも心の安らぎを与え、また助けてやるのが一般的庶民の見舞ではないでしょうか。

七五%の人たちが苦慮されていることですが、私も経験があります。見舞のお返しに、家族会議とおおげさですが、話し合いで頭をいためたこともあり、人間だれしも病氣やケガをしないという保証はないのですから、お互いさまであれば廃止もよいことだと思います。

そこで、退院したらすぐに喜びの声を電話で伝え、お礼を言うようにします。次に、遠方の人には手紙などで詳しく書きます。特に手紙など書くことの少ない昨今、便りをいただくことは、心のなご

か。